

科目	ゼミナールⅣ(M)	担当	天野 圭二	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

国際関係の中でもトランスナショナルな現象を主に扱う。中でも最も容易に国境を越えて流通するものとして、映像や音楽やテキストを題材に作品の文化的背景を研究する。ゼミナールⅣはゼミナールⅢでの研究成果をもとに、卒業論文を完成させ、卒業論文を紹介するプレゼンテーションを行う。本ゼミでの到達目標は以下の通りである。

- 1) 自らの興味に基づいて設定した課題に対して、創造的に議論し、結論を出す能力が身につく。
- 2) 経営学部で学ぶ各専門科目が共用する基礎的専門知識を系統的、総合的に理解できる
- 3) 問題解決能力やアイデアや意見を論理的に創り上げる能力が身につく

**【履修注意】**

- 1: 議論への参加は必須。「座っているだけ」の参加は厳禁。また、ゼミへの参加は義務であるため、欠席厳禁。
- 2: 中部地域、日本、世界で何が起きているのか、常にアンテナを張って観察しておくこと。

**【評価方法】**

プレゼンテーション(40点)、期末レポート(40点)、ゼミへの参加の積極性(20点)とする。レポートの構成は、卒業論文のタイトル(題目)、目次(構造図)、序章(概要)とする。未提出の場合、評価はDとし、再履修とする。

公欠届、就職活動届、診断書無き遅刻・欠席は認めない。無断欠席の場合、評価をDとする。

**【試験について】**

定期試験は実施しない

**【予習・復習】**

自ら取り上げたテーマを熟知するまで検討(毎週最低90分以上)

**【教科書】**

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミナールⅢの総括、ゼミナールⅣの進め方
2	プレゼンテーション	卒論の現状再確認
3	プレゼンテーション	卒論の現状再確認
4	卒論指導	ピアレビュー、個別指導論文構成の再確認、論旨は明快か。
5	卒論指導	ピアレビュー、個別指導統計データの扱い方、分析内容の確認
6	卒論指導	検討内容の妥当性、過不足の確認
7	卒論指導	検討内容の妥当性、過不足の確認
8	卒論完成稿、ゼミ内提出	完成稿確認、提出
9	卒論提出週	完成稿確認、事務局へ提出プレゼン準備
10	プレゼンテーション	完成稿に基づく発表会準備リハーサル
11	プレゼンテーション	完成稿に基づく発表会準備リハーサル
12	プレゼンテーション	卒業論文コース内審査
13	プレゼンテーション	卒業論文コース内審査
14	卒論指導	細部の修正
15	卒論指導	細部の修正
16	卒論指導	卒業論文(代表論文)発表会